

第52回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1998年9月18日（金）11:00～11:22

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 遠藤委員、依田委員、木元委員  
（事務局等）科学技術庁  
原子力局  
今村審議官  
坂田政策課長  
原子力調査室 板倉、村上、  
国際協力・保障措置課 瀬山課長、遠藤  
通商産業省資源エネルギー庁  
原子力産業課 尾曲  
吉浦専門委員

4. 議 題

- （1）竹山委員長等の第42回国際原子力機関（IAEA）通常総会の出席等について
- （2）原子力国際協力専門部会報告について
- （3）第10回アジア地域原子力協力国際会議の開催について
- （4）その他

5. 配布資料

- 資料1 竹山大臣及び遠藤原子力委員の出張について  
資料2 第10回アジア地域原子力協力国際会議の開催について（案）  
資料3 第51回原子力委員会臨時会議議事録（案）

6. 審議事項

- （1）竹山委員長等の第42回国際原子力機関（IAEA）通常総会の出席等について

標記の件について、事務局より資料1に基づき説明があった。これに対し、  
・米DOEリチャードソン長官には、核不拡散を含めた日本の原子力政策をきちんと伝えるべき。

等の委員の意見があった。

- （2）原子力国際協力専門部会報告について

標記の件について、事務局より前回の委員会における意見を踏まえ各省庁に報告書を送付することについて発言があった。これに対し、

・報告書はまとめるだけでなく、実施することが大切。そのためには行政庁、関係団体に周知を図り、原子力委員会として適宜、進捗状況をフォローする

必要がある。

等の委員の意見があり、本件については了承された。

### (3) 第10回アジア地域原子力協力国際会議の開催について

議記の件について、事務局より資料2に基づき説明があった。これに対し、

- ・準備委員会の委員長はだれか。

(国協課) 昨年同様、(財)原子力産業会議では東京大学名誉教授の田畑先生を候補としている。

- ・テーマはどうするのか。

(国協課) 前回の「新しい展開をめざして」を引き継いだ内容になると思われるが、テーマ決定は準備委員会、原子力委員会で審議のうえ行われるもの。

- ・会議が単なる演説会にならないように工夫すべき。

- ・国際的に原子力をどう考えるかなど、焦点を絞った議論をするためにテーマをしっかりと決めるべき。前回は各国バラバラであった。

- ・次々回は他国で開催する案、また、タイを候補とする案はどうなっているか。

(国協課) 今後検討される。

- ・各国の責任ある人間に出席して貰うための働きかけが大切、原子力委員会として準備委員会に任せきりにせず取り組むべき。

- ・各国のP.Aの問題の実状など、本音で話し合えるようにしていくことが必要。等の委員の意見及び質疑応答があり、本件については了承された。

### (4) 議事録の確認

事務局作成の資料3第51回原子力委員会臨時会議議事録(案)が了承された。

なお、事務局より、次回の開催について、9月22日(火)の定例会議は休会とし、9月25日(金)に臨時会議を10:30から開催する方向で調整したい旨発言があった。